

学習したことを生かして

「モチモチの木」

齋藤 さいとう

隆介 りゅうすけ

めあて

夜の豆太は、どんな子どもかを読み取ろう

豆太について

- ・豆太ほどおくびょうなやつはいない
- ・とはは五つ
- ・夜中には一人でしょんべんもできない

教科書62, 63ページの挿絵を貼ってください。

モチモチの木の様子

- ・大きな木
- ・つつ立っていて
- ・空いっぱいのかみの毛
- ・バサバサとふるって
- ・両手を「わあっ。」とあげる

じさまの気持ち

- ・どんな小さな声で言っても…すぐ目をさましてくれる。
 - ・かわいそうで、かわいかった。
- それなのに、豆太はおくびょう

3 / 16 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

夜の豆太の様子から人物像をとらえさせ、豆太に共感できるようにする。

1 初発の感想の中から、「おくびょう豆太」に関するものを確認する。

2 めあてを確認し、「おくびょう豆太」の場面を音読する。

初発の感想からめあてにつながるようにする。

3 豆太の人物像について考え、交流する。

どんな子どもか分かるところを文中から抜き出し、ワークシートに書く。
豆太についてまとめたことをグループや全体で話し合う。

【発問】豆太は、どうして一人でせつちんに行けないのでしょうか。

豆太がせつちんに行けない理由から、モチモチの木の様子を読み取らせる。さらに、木の様子を押さえることで、おくびょう豆太に共感できるようにする。

4 じさまの思いを読み取る。

【発問】じさまは、おくびょう豆太のことをどう思っているでしょう。

じさまの気持ちに分かる言葉から、豆太に対する気持ちを想像させる。
最後の一文「それなのに、豆太はおくびょう」に着目させ、じさまの思いとは反対の豆太をとらえさせる。

5 おくびょう豆太の場面で心に残ったことや思ったことを付せんに書いて、ワークシートに貼り、本時のまとめをする。

評価 豆太のおくびょうな様子を読み取ることができる。